

生粋の荒川人から真打が誕生! 庶民の芸能、落語の面白さを伝える



2014年7月25日の
大阪「天満天神繁昌亭」の様子

■プロフィール

本名 田中秀樹。昭和49年8月30日 荒川区西尾久生まれ。西尾久保育園、尾久西小学校、荒川区立第七中学校、都立白鷗高等学校へ。平成11年 中央大学(心理学専攻)を卒業と同時に桂才賀師匠に入門。平成15年 ニツ目に昇進し、平成26年3月「三代目 桂やまと」を襲名して真打に昇進。平成13年 東京寄席演芸の新人賞「第6回岡本マキ賞」受賞。平成24年「第11回さがみはら若手落語家選手権」優勝。所属する落語協会の前座鳴物指導のほか、中央大学落語研究会の指導役なども務めている。



落語家

三代目 桂 かつら
やまとさん

第236回 荒川の人

古くから荒川区にゆかりの落語家さんは多く、この「荒川の人」でも、三代目古今亭志ん朝さんを始め、三遊亭鳳楽さん、そして荒川区観光大使をお願いしている三遊亭好楽さん、玉楽さんをご紹介してきました。そんななか、昨年春、荒川生まれ、荒川育ちの荒川人から真打が登場しました。その名は、桂やまとさん。落語家になったきっかけと真打までの道のり、落語家としての今後の展望を話してくださいました。

無料招待券で寄席に行ったのが、
すべての始まり

きっかけは19歳のとき。浪人2年目で重苦しい毎日を過ごしていたやまとさん。ふと目に止まったのが、読売ファミリースーカルから毎月届いていた浅草演芸ホールの無料招待券でした。寄席が好きだったお祖父様が外出できなくなっていたから、無駄にしていた招待券。それを持って逃避行するように浅草演芸ホールに足を踏み入れたのがすべての始まりでした。

「落語を聞いたのはそのときが初めて。2階席から見ていると、客席がウエーブして笑うんですよ。なんじゃこの空間って。トリの頃には自分も一緒に笑って笑ってたんですよ」

見事、中央大学に受かったやまとさんは落語研究会へ。やまとさんを含む10名の新入生が入り、お互いに負けまいと切磋琢磨する日々。1年生が終わるころには、断家になることを決意し、郵政省にお勧めだったお父様に報告すると、「4年で卒業したらいいよ」と条件を出されます。4年で卒業するのは当たり前前のようにですが、やまとさんは部屋にばかりいて、1年の取得単位は半分以下。お父様の条件は留年してもいいから普通の会社に入って欲しいとの思い

からだったのでしよう。それでも2年生から挽回し、4年生の終わりに卒業の見込みが出ました。

中央大学落語研究会は代々プロの手ほどきを受けられ、やまとさんが在学中に指導役だったのが、後にやまとさんの師匠となる桂才賀さん。「恋愛相談しているうちにその人を好きになっちゃったみたいな(笑)。落語も面白いし、頼りになるし、この人の弟子になりたいなあって」

卒業後すぐに才賀師匠に弟子入りを志願。「親御さんがいいって言わない限り、俺はとらねえよ」と言われ、ご両親を会わせると、「売れるか売れないかでこんなに差が激しい商売はないし、野垂れ死ぬかもしれない。大学まで出した大切なお子さんを、よろしいんですか」と師匠。それに対し、反対していたはずのお父様が「自分の就きたい商売につけることほど幸せなことはないので、よろしくお願いします」と頭を下げられたそうです。

「そこからです。それまで優しいおじさんだと思っていた師匠が180度人が変わりました。入門して2ヶ月間は、とにかく叱られっぱなし。素人のときのくせを全部捨てさせるため、断も教えてくれませんでした」

前座の間は寄席で働き、朝晩は師匠の用をこなしながら、断を覚え、太鼓や篠笛の稽古もするという毎日。4年間で休みは1日もなし。二ツ目昇進後は、すべてが手探りのなか、徐々に増えていくお客様に支えられ、入門から15年が経った昨年、晴れて真打に。

大好きな荒川区の方々に落語の面白さを知っていただきたい
「落語の魅力は、登場人物がみんな愛らしくて理屈抜きに楽しめるこ

と。古典芸能っていうと古くさいと思われがちですけど、『それやったら失敗しちゃうよ』、『あゝあ、やっちゃった』っていう昔も今も変わらない人間の機微を、難しく考えずに伝えるのが落語だと思っくんですよ」

先日も荒川四中から依頼されるなど、さまざま場所で一席務めるやまとさん。誰もがわかる落語だからこそ、大切にしているのがファーストインパクト。特に学校公演の場合は、生まれて初めて落語を聞く子どもがほとんどのため、最初に聞く落語がつまらなければ、一生聞いてもえないういうプロとしての使命感を持って常に臨んでいると言います。

最後に今後の抱負を伺いました。

「高座で、右向いて左向いて人物が変わるうちに、そこにやまとは消えて、お客様には登場人物だけが見える落語家になりたい。あいつの落語を聞いていると情景が浮かぶんだよね。二ツ目の後半に落語家としての生き方が決まってるから、お客様も増えはじめたんです。ああ、誰か見てくれるんだなって思いますよね。そして、庶民の芸能、落語をもっと身近なものだとして知ってもらえるように、伝えていきたいし、特に荒川区の人にはもっと聞いてもらいたいなあ。上野、新宿、浅草、池袋、東京の寄席はどれも近いので、ぜひ新たな世界に一歩足を踏み入れて欲しいですね」と区民のみなさまへのメッセージも付け加えてくださったやまとさん。今後のますますのご活躍が期待されます。

東京大神宮十七日寄席

第6回 やまと独演会

日時：5月17日(日) 15時開演

場所：飯田橋 東京大神宮

演目：御神酒徳利初演、転失気初演、短命

前売り：2,000円 当日：2,300円

定員：50名
ご予約・やまとの会03-6458-12606

ふくらむ収納から、ゆとりの収納へ!

トランクルーム 貸し納戸

安心な管理人常駐!!管理費・共益金ナシ!!天井高3mで収納抜群!!
2階 割安ブース完成!!
3階 若干空きあり!!

月額 8,085円税別
毎月利用料のみ!!

全130室
1.32㎡~3.89㎡

NEW

詳しくはホームページをご覧ください
※空室はお電話にてご確認ください。

引越しの合間に家具の収納として。
シーズンオフの生活用品やスポーツ用品の収納に。

泰山堂トランクルーム 東京都荒川区荒川4-48-3
TEL03-3802-8888 (8:00~19:30) FAX03-3805-2690

お申し込み
お問合わせ

<http://www.okubopp.co.jp/>

夢をかなえるパートナー

城北信用金庫

Johoku Shinkin

<http://www.shinkin.co.jp/johoku/>